

1人1台端末環境を基盤とした授業改善

笠岡市立笠岡小学校 6年

2024.12.18

岡山県教育委員会
教育情報化推進室

教科書を深く読み取ることで「問い」が生まれる

ICT活用先進校では、主体的な1人1台端末の活用とともに教科書をしっかりと活用する様子が見られます。[リーディングDXスクールのWebサイト](#)では全国の指定校の実践動画が視聴でき、特に次の3校の動画では、自ら教科書を深く読み取りながら学ぶ姿が目にとまります。

● [吉田町立住吉小学校（静岡県）](#)

『ICTを活用して行う「1人でも学び続けられる力」を育成するための授業改善』

● [春日井市立藤山台小学校（愛知県）](#)

『子供たちが自ら学ぶことのできる授業』

● [沖縄市立諸見小学校（沖縄県）](#)

『自立した学習者を目指す授業』

右上の写真は、沖縄市立諸見小学校の動画の一部ですが、10月に「NEXT GIGA」をテーマに岡山で開催された「教育セミナーinおかやま」で登壇された、[文部科学省 武藤久慶 教育課程課長](#)、[川口貴大 情報教育振興室長補佐](#)とともに、同校の「[教科書の読み取り方](#)」の指導を取り上げ、「自立した学習者」の育成に向けて大変重要な要素であると示されました。



笠岡市立笠岡小学校の第2回公開授業では、6年生が右のように、**教科書の重要な記述にアンダーライン引いたり、図と本文を線で結んだり、気付きを書き込んだりしながら学んでいました。**ある児童は「下級武士たちによる幕府をたおして天皇中心の国家をつくらうとする運動」と記述されているところに『なぜ武士が天皇中心?』と記述していました。社会的な見方・考え方を働かせて相互関係に着目し、自ら教科書を深く読み取ることで、「問い」が生まれていることがわかります。（※県教委が示す「ICT機器授業活用【STAGE3】」の原点は、児童がもつ「問い」にあります。参照：[教科等におけるICT活用事例集 STAGE3編 第二版 P6](#)）



このような学び方の本質は、紙の教科書でもデジタル教科書でも変わりはないと考えます。

児童生徒が教科書を深く読み取って学んだ足跡は、**児童生徒同士で「他者参照」**を行うことができるかと一層効果的な学びにつながるのではないのでしょうか。各々の学び方や見方・考え方を学ぶため、教科書をカメラで撮影してクラウドで共有し、「[みんなの学び方の上手なところ](#)」等を探す活動が考えられます。例えば、小学校高学年くらいになると、クラス35人分を共有しても全て参照することは可能でしょう。また、授業内で時間が確保できない場合は、端末を持ち帰って家庭学習で行うこともできるでしょう。

そして、見つけた工夫や今後取り入れたい視点などについて、Classroom、スプレッドシート等でコメントし合うと新たに「**相互啓発**」が生まれてくるはずです。教師がそれらを大いに賞賛し価値付けることによって、児童生徒は更に「自立した学習者」として成長していくのではないのでしょうか。